

令和8年2月5日
阿南市科学センター

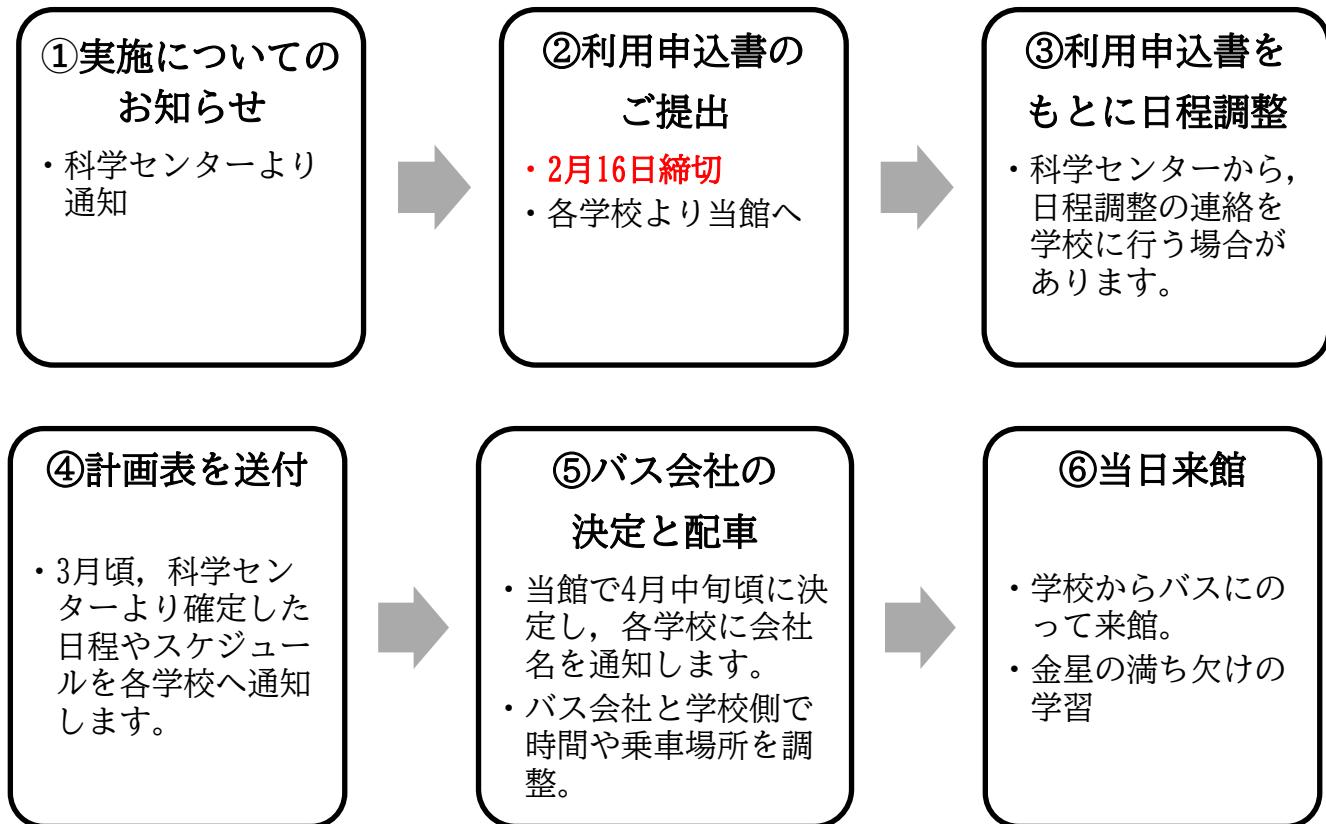
令和8年度 科学センター理科学習（中学校）の実施について

本年度の実施同様、市内の全中学校（3年生のみ）を対象に科学センター理科学習を行います。生徒の移動手段については市教育委員会（科学センター）でバスの利用料が予算化されています。学習テーマは中学校3年生「金星の満ち欠け」に特化し、当館の強みでもある大型天体望遠鏡などを利用した観察や実験を軸とした学習を行う予定です（概要については下記参照）。また、金星の見える時間帯が変化するため、来年度は7月1日～10月7日の実施を予定しております。（来年度、その他の期間は金星の観察が難しいです。）つきましては、日程調整に関する希望調査を合わせて各中学校に文書にて通知させて頂きますので、皆様のご協力のほど何卒宜しくお願ひ致します。

概要

1. 実施時期： 令和8年7月～令和8年10月（梅雨期、夏休み期間を除く）
2. 実施時間： ① 7月1日(水)～7月17日(金) ……午後ののみの実施となります。
② 9月2日(水)～10月7日(金) ……午後ののみの実施となります。
13:30～15:30 の内 100 分程度（予定）
※あくまで予定ですので、学校側と相談の上多少時間を前後させることができます。
※望遠鏡で金星の観察が行いやすい時期、時間帯で日程を組んでいます。
※「科学センター理科学習（中学校）年間計画」より、実施時間を確認ください。
3. 日程調整： 「令和8年度科学センター理科学習（中学校）利用申込書」に実施希望日をご記入いただき、メールかFaxにて科学センターまでお送りください。
締め切りは2月16日（月）です。
※日程の希望が偏った場合、日程調整をさせていただきます。
4. 対象： 阿南市内の全中学校 / 3年生（基本1クラスずつ）
5. 移動手段： バス / 教育委員会（科学センター）で予算化されます。
※バスの配車や支払い手続きは、全て科学センター側で行います。
6. 内容： 「金星の満ち欠け」
 - (1) 大型天体望遠鏡を使って、金星を観察し形のスケッチを行う。
 - (2) 金星の満ち欠けの仕組みについて、モデル実験装置を使って理解を深める。
 - (3) モデル実験を踏まえ、先に観察・スケッチした金星について、太陽・地球・金星がどのような位置関係のときに見えるのかを考える。
 - (4) まとめ

7. 実施までの流れ：



備 考

- 日程の希望が偏った場合は、日程調整のご連絡をする場合がございます。
- 生徒の人数が小規模の学校の場合、他校と合同実施のご相談をさせて頂く場合もございます。
- バス会社は科学センターにおいて、4月中旬頃に入札を経て決定されます。
- 警報発令などで、科学センター理科学習が中止になる場合、学校からバス会社へご連絡をお願い致します。併せて、科学センターには朝8:30以降にご連絡頂けますと幸いです。
- 日程が決定された後、行事予定の関係で日程変更が必要な場合や、やむを得ず学校間で予定を交換する場合は、科学センターまでご連絡ください。

